

東京鰐陵

発行 ● 東京鰐陵会
 発行所 ● 東京都中央区日本橋蛸船町
 1-8-2-305(三宅デザインルーム方)
 TEL & FAX (03) 3662-6593
 編集 ● 東京鰐陵編集委員会

人脈は宝

東京鰐陵会会長 渡邊 邦夫 (24回生)



東京鰐陵会の会員の皆さん、各分野での活躍のご見聞が、また、老体に血躍る思いをいたしてあります。

去る、平成十三年十一月二十日の第十七回の総会において、第四代会長菅野七三郎先達より会長職を引継ぎました第五代目でございます。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

とは申せ、もう早いもので、なんらなすことなく三年も過ぎ去ってしまいました。昨年十一月には、第六代目にお譲りする所存でございますので、任期はあと一年でございます。

昭和二十一年四月、戦後初めての石中生(旧制二十四回生)として入学、学制改革で母校には、六年間もお世話になり、懐いで深い石中、石高生活をおくられて頂き、感無量でございます。若い同窓の皆さんより道もお世話になったので、倍お努力で会の発展に務めなければ、と思いつつ今日に至っています。汗顔の至りでございます。

さて、現在会員数は一千名余でございますが、三百名程度の潜在会員があられると考へております。本部の回生幹事の方々にお願いして、まだ未登録の関東地区の同窓の方々に申し込を呼びかけていきたいと思っております。

事務局の方は、回生理事さん方々の協力を得、手落ちなく、

事を務めております。

皆さんが協力なしでは何も成すことができません。今後共、どうか宜しくご協力、ご指導の程お願い致します。

また、昨年十一月には、第十八回の東京鰐陵会総会が開かれます。前回より一名でも多くの出席者がありますよう、努力しますので、どうか同窓諸兄のご協力をお願いいたします。

なお、昨年八月の本部同窓会において、仙台鰐陵会の新会長今井 大氏(三十二回生)と初めにお会いし、これからの支部同窓会の在り方に意見が一致、お互い理解と協力を約束して参りました。その結果、八月二十八日の仙台鰐陵同窓会に招かれ出席して参りました。あ

いにく会長は今井氏は急病のため欠席、副会長の鈴木征三郎氏(三十一回生)、事務部長松田尚嗣氏(三十六回生)ら若い人たちのリーダーシップぶりを、拝見して参りました。出席者三百余名を教えた仙台鰐陵同窓会だからこそ、皆段お会いできない人にお会いでき、同窓会の意義について、今更の如く深く考えさせられました。

前会長、菅野七三郎氏の言葉「人脈は宝、心に銘じておきましょう。」

最後になりましたが、会職員諸兄のご健勝とご活躍をお祈り申しあげます。



鰐陵健児の意気高し

宮城県仙台高等専修学校 鈴木 孝資 (37回生)



「北上川の洋々と太平洋に入るほとり我が学園はそびえたつ」石高は今も鰐陵の原動力に輝いています。

東京鰐陵同窓会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

同窓生の皆様は、日本の中核である関東圏の競争の激しい社会の中にあつて、しかも、あらゆる分野に渡つて活躍なさつて参ります。それが、今の生徒にとつても大きな励みになって参ります。先輩に続けという事で、学校生活に一生懸命に取り組んで参ります。そしてそれなりの成果も上げて参ります。特筆すべき点は、この三月に、県公立理療科を上げたこととです。また、県

単体では、軟式野球・ボート競技で優勝しました。石高生は今も鰐陵の地でかつての先輩の皆様と同様に文武両面に励んで参ります。

石高は現代の社会の要請に応えるべく今大きく変わろうと参っています。直感では、平成十三年に策定した「県立学校将来構想」において、全ての県立高校の共学化という方針を決定しました。それに伴い、平成十八年度からは、石巻地域の県立の男女共学になり、それぞれ別に石高共学になります。石高はこれまで地域の進学校として努力してきました。こ

れを踏まえ、平成十八年度からは、石巻地域の男女共学の進学校として歩んでいきたいと考えて、今その準備を進めて参ります。

加えて、石巻地域の県立高校の再編整備もなされます。石高定時制・石高定時制・矢本高全日制定時制が統合され、午前・午後・夜間の三部からなる単位制定時制の「東松島高校」が発足します。そのために、石高定時制は平成十七年度から生徒募集停止となり、平成二十年三月をもち閉校となります。

また、石高は現在西校舎を改装中です。今年の十一月には新校舎での生活が始まります。一方、現在の東校舎は、来年度から耐震のための大規模改修に入ります。それで、今年度末までには東校舎からプレハブに移らなければなりません。したがって、平成十七年度には、快適な新校舎と不便なプレハブの両方にもアンバランスな生活となります。何と云つても残念な事は、西校舎新築に伴い、図書館(旧講堂)がそちらに移り、平成十八年度には解体されることです。石高も時代の流れに迫らる。男女共学化・図書館解体と大きく変化します。しかし、創設以来の校風「質実剛健・進取独創・自ら進取を開拓すべし」を継承していきたいと考えています。

これからの、東京鰐陵同窓会の皆様には、母校のためにご支援を願ひたく存じます。石高は「いと高き学び舎」を目指して、「至誠一つに貫きて我が運命をひらかばや」

(平成16年7月7日・現在)
 東京鰐陵会 会長 渡邊 邦夫

【平成15年度 東京鰐陵会 総会の収支報告書】

収入の部		収入金額	摘要
総会収入	総会会費収入	1,070,000	◎10,000 107人
	総会振替収入	178,000	総会祝儀収入、Tシャツ販売収入
	総会雑収入	0	
総会収入合計		1,248,000	
支出の部		支出金額	摘要
総会支出	総会宴会費	1,198,188	全日空ホテル支払い
	総会土産品代	0	
	総会事務局会議費	42,000	総会手紙い夕會代
	総会事務・雑費	130,694	総会通知ハガキ代、コピー代等
総会支出合計		1,370,882	
収支の差額		△ 122,882	一般会計から相項

来年(平成17年)は東京鰐陵会総会 開催の年です

幹事学年 29回、33回、37回

私は在ヤマト東北人

——海洋交易民の末裔として——

石野 博信 (24回生)



(写真1) 近畿の東北系縄文人 (奈良県橿原遺跡、背負の土偶は宮城県栗原市山貝塚)

今から三〇〇〇年ほど前、東北系縄文文化の最盛期の頃、ヤマトに多くの東北人がやって来た。今の奈良県橿原市橿原遺跡である。そこは和歌山と三重の間にあり、神武天皇が「橿原」で即位したという伝説の地である。橿原遺跡には、東北の縄文晩期人が祭祀に使っていた土偶(土の人形)や石刀のほか土器類が一〇〇以上あり、関西における東北人の貿易拠点だった(写真1)。

橿原遺跡は、たまたま皇紀二六〇〇年祭(神武天皇が即位してから二六〇〇年)の記念に、神武天皇を祭神とする橿原神社の外苑整備事業のときに発見され、橿原考古学研究所はその発掘調査を契機に誕生した。一九二八年(昭和十三年)のことである。

私は石巻高校卒業後、関西の大学に入り、一回生のときに橿原考古学研究所を創立された末永雅雄先生にお会いした。末永先生は、後に文化財庁を受賞された考古学の泰斗であり、不思議なことに石巻の杉山寿栄先生のお父君・杉山寿栄先生とお知り合いだった。寿栄先生は、アイヌ文化研究の泰斗で石巻市毛利コレクションの蒐集に尽力されている。

一回生のとき、関西学院大学と関西大学の共同発掘調査が兵庫県加茂遺跡で行われ、私も参加した。そのとき、発掘現場で末永先生から、「君はどの出身か」と聞かれ、「君はどの出身か」と聞かれ、「宮城県の石巻高校です」とお答えしたら、「そこには杉山君がいるだろう。時々、高校の新聞を送ってくれ」と言われたのにはビックリした。その新聞には、石中・石高を通じて仲間と万石浦沿岸の旧塚などを歩き回った記録が載っている。

「三〇〇〇年前のヤマトは東北の出発所だ」
「オレが今、ここに居るのは歴史の意味があるんだ」と酒が入った研究所の仲間にも叫んでいたように思う。ところがあるとき、東北人は関西人に裏切られた。

三〇〇〇年前の約三〇〇年間、東北縄文文化が切れ目なく関西の橿原遺跡に伝わっていた。それが突然、断絶した。私は大学の卒業論文と大学院の修士論文で、東北縄文文化は何故関西では断絶したのかを考えた。東西では、その後、さらに三〇〇〇年経ってからのことだ。

本海を船で北陸各地を経由しながら琵琶湖を経て来たらしい。新潟県や石川県に東北系縄文人の拠点がある。
ところが最近、太平洋の荒波を越えていることが分かってきた。数年前、鹿児島県東市来町の発掘現場を訪れたとき、プレハブのテーブルの上に東北系の縄文土器のかけらが置いてあった。懐かしい感じがして、「最近、誰か東北の人が来たんですか」と聞いたら、「別に、どうしてですか」と言われ、「ここに東北の土器があるから」と言われ、「コレ、ここで出たんです」と言う。びっくりして改めて手に取って見ると、土の感じも文様も、昔、石巻の沼津貝塚で拾った土器と全く同じだった。

「三〇〇〇年前に東北系土器が来た」と聞いて、一帯に異変が起きているのを感じた。三重県伊賀市から関東の東海沿い岸にやって来た人々の二世か三世が、関東で作った「ふるさと系土器」を持って北上川河口にたどり着いたのだらう。そこで北海道人と出会い、一部の人々は熊の毛皮などを手に入れて関東に戻り、数年後には東海に帰る人々もあつたらう。

石巻市新金沼遺跡から邪馬台国時代・三世紀の住居群が出てきた。その中に北海道の土器(後北C2・D式)と東海(愛知県地方)の土器があった(写真2)。仙台・野の北海道系土器は古川市付近に多く、北上川をさかのぼると岩手県盛岡市付近にもある。北海道系土器は動物の毛皮を敷すための石罫と一緒に出ることが多い。北海道人は熊の毛皮などの交易品を持っていたようだ。

東海系土器をよく見ると、東海系そのものではない。関東各地の東海系土器に似ていることが分かってきた。東海系土器の三重県伊賀市から関東の東海沿い岸にやって来た人々の二世か三世が、関東で作った「ふるさと系土器」を持って北上川河口にたどり着いたのだらう。そこで北海道人と出会い、一部の人々は熊の毛皮などを手に入れて関東に戻り、数年後には東海に帰る人々もあつたらう。

邪馬台国時代、石巻で北海道人と東海人が出会った
石巻市新金沼遺跡から邪馬台国時代・三世紀の住居群が出てきた。その中に北海道の土器(後北C2・D式)と東海(愛知県地方)の土器があった(写真2)。仙台・野の北海道系土器は古川市付近に多く、北上川をさかのぼると岩手県盛岡市付近にもある。北海道系土器は動物の毛皮を敷すための石罫と一緒に出ることが多い。北海道人は熊の毛皮などの交易品を持っていたようだ。



(写真2) 石巻市新金沼遺跡の東海系土器(上)と北海道系土器(下)

菅野病院

(付属 人工腎臓透析センター)

〒351-0114 埼玉県和光市本町28-3 TEL (048) 464-5111(代)

+

東武中央病院

〒351-0114 埼玉県和光市本町28-1 TEL (048) 464-6211(代)

ひさし
菅野 壽 (15回生)

医療法人 **壽鶴会**

かんの
菅野 壽 (15回生)

理事長

社会福祉法人 **旭壽会**

特別養護老人ホーム 一心苑
河南町町在在宅介護支援センター

〒987-1103 宮城県仙台市青葉区南町北村字巻ヶ元1-17-2
TEL (0225) 73-2315 FAX (0225) 73-2315

特別養護老人ホーム 雄心苑

最勝町アイサービスセンター
盛岡市在宅介護支援センター

〒986-1302 宮城県雄勝郡最勝町大字小島字和田123
TEL (0225) 57-3612 FAX (0225) 57-3615

特別養護老人ホーム おしか清心苑

社履町船川在宅介護支援センター

〒986-2523 宮城県牡鹿郡牡鹿町大字船川字清崎57
TEL (0225) 44-1654 FAX (0225) 44-1651

あると伝えられている。邪馬台国が大和であるとすれば（石野・邪馬台国の考古学）吉川弘文館、二〇〇〇年）、東北から東海に帰った人々の情報で、大和を遼東で中国の都まで伝わっていたかも知れない。こんな事があるかどうか、石巻市内でみかけた古師「界弥呼」の館（写真3）で聞いてみるだろうか。



(写真3) 界弥呼の館（石巻市）
（写真3） 界弥呼の館（石巻市）
（写真3） 界弥呼の館（石巻市）

毛利コレクション

「石巻は、いくよ山台・石巻」と呼ばれたように海津交通都市であった。毛利コレクションは石巻の歴史の中から生まれた貴重な遺産である。他に類のない石巻新築地開拓資料（山台塚の貨幣造り）や、重要文化財にもなっている沼津回廊の骨角器

蔵され、一部分だけが展示されているが大半は隠されたまま。編文以来の南洋民、邪馬台国時代に北海道アイヌと交易した人々、そして江戸・明治の商業都市の証しが収蔵庫に埋もれたままではないか。県内の大学や博物館は、人手不可能なこれらの資料を売却せざるを得ない。いしらのひらめき

や土器をはじめ、杉山孝美、男先生が選別されたアイヌ関係資料やきらびやかな工芸品など、超一般品の山打、今、石巻文化センターに収

「毛利コレクション」Q&A

Q 誰の、何のコレクション？
A 明治21年（1888）、住吉町に生まれた故毛利徳七郎氏が、70年をかけた収集した考古資料や民俗資料約万点のコレクションをいう。なかでも石巻新築地や、アイヌ民族、庶民資料は世界的にも貴重な資料である。

Q 現在、どこに保存されているのか？
A 住吉町の毛利邸内の考古館にあり、一部は文化センターにある。お孫さんにあたる毛利伸氏が維持・管理されている。

Q 海外にもその一部があるのか？
A 大正15年、スウェーデン国王太子が日本を訪れたとき、骨角器12点を献上し、今でもスウェーデン王室博物館に展示されている。また、アメリカのコーニングガラス社の社長令嬢が訪れたとき、山打ガラス十数点を贈呈した。NY州

にあるコーニングガラス美術館に展示されている。

Q 毛利氏から石巻市に寄贈の申し出があったと聞くか？
A 石巻市では毛利コレクションを核とした市立博物館を建設することになっている。これを受けて毛利氏から寄贈の申し出があった。

現在「毛利コレクション」整備推進室」を設置して、コレクションの全容把握のため、所蔵資料を調査している。厳正にしての財政だが、観光資源としても有効と考えられることから、早急な整理を望みたい。

なお、民間の活動として「毛利コレクション」等博物館建設を推進する会」が結成され、整備活動を積極的に進めている。無償の寄付金は約1千万円。また建設費全額は近く、またまた建設費全財を守り、向の活性化を図るために財政的協力を願っている。

先が見えない博物館建設

樋口 隆信(仮) (23回志)

土蔵を思わせる博物館が十一月に開館する。うらやましく思ふ気持ちと無言でも似た、いらいだちが走る。山口県萩市博物館の外観を六月五日に見た。

最近、岩手県北上、花巻市、しる雨巾にしろ、人口、財政など石巻より小規模である。毛利コレクションを中心とした博物館建設は、昭和二十八年市が議会に上程、否決。しかし保存が叫ばれてから五十年を経過した。昨年志願したた基金委例もできたのだが……。

両市や鉄道の差は同なのか。土壌の違いと違うにしては、あまりにも空しい。

石巻市の基金を早くなくすこととは、首長の言うとおり至上課題ではある。この事業を市民運動である「建設推進」の会員二百五十人も、十ヶ月前の二万人余の早期建設のための署名を集めた。

「毛利コレクション」石巻市市民運動では、開館二、四年記念特別寄附として、旧北上川河口（白根）から水源地といわれる磐手温泉、堂前高までの二四九号を、リヤカーで運ぶというユニークな構想を制作中。リヤカーを引く旅の主人公はカマヤママンの橋本良夫氏（30回生）。

橋本氏といえは、昭和四十九年、ドキュメンタリー写真集の「野女」で日本写真家協会新人賞を受賞して注目をされた人だ。今回の企画では、旅の途中で写真集の題材になり写真を取りながら、「歩く、出会う、語る」旅を四季に回って進めようという。放映はテレビ朝日朝日茶で十七年四月二十九日の予定。

北上川リヤカー紀行

仙台北上川リヤカー紀行の特番撮影快調！



から水源地といわれる磐手温泉、堂前高までの二四九号を、リヤカーで運ぶというユニークな構想を制作中。リヤカーを引く旅の主人公はカマヤママンの橋本良夫氏（30回生）。

橋本氏といえは、昭和四十九年、ドキュメンタリー写真集の「野女」で日本写真家協会新人賞を受賞して注目をされた人だ。今回の企画では、旅の途中で写真集の題材になり写真を取りながら、「歩く、出会う、語る」旅を四季に回って進めようという。放映はテレビ朝日朝日茶で十七年四月二十九日の予定。

Central group

セントラルフィルター工業株式会社
セントラル機工株式会社
セントラルメンテナンス株式会社

代表取締役社長 松川 文隆 (29回生)

東京本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-34-16 第2東興ビル
TEL (03) 3350-0091(代) FAX (03) 3350-0095
大阪支店 〒541-0046 大阪市中央区平野町3-1-7 セントラルビル
TEL (06) 6228-1331(代) FAX (06) 6228-1332
営業所 札幌・仙台・名古屋・高槻・福岡・那覇

院長 畑岡 寛 (20回生)

診療所 横浜市南区陸町二一八一—四
電話 (045) 714-1343 三八

畑岡外科クリニック

東京鰐陵会創立当時の思い出

監事 高橋 金雄 (47回生)

渡辺邦夫会長から依頼された(強制された?)東京鰐陵会創立当時の思い出のごとく、ここ数年、落ち着かない日々を過ごした。

目先の仕事のこともあって、そのうち、そのうちと一日延ばしをしていく間に、はや、半年も過ぎてしまったこと。まことに申し訳ない次第。

この原稿のことを考える度に、文才の無さを痛感させられる。自己嫌悪に陥り、更に、老作現象も災いして、往々四十年前の記憶も鮮やかに蘇る。難しさをしみじみ感じている。

だからと言って、今更、放り出すわけにも行かず、ともかく可能な限りの努力をしよう。まずは、当時の資料を探しにかかろう。物置の隅から、埃をかぶった東京鰐陵会のファイルを探すと、大変な労働であった。往々にぼろぼろと、お目当ての資料は容易に見つからず、殆どは徒勞に終わった。僅かに、初めて作った名簿と創立当時の資料が数点見つかった程度である。この資料が何かが引き出せるのかと心細い限りである。

やうやく(戦後は終わった)と言われた当時、東京だけでなく石巻地区を除いて、殆ど同窓会支部はなく、同窓会本部(正課)としては、東京在住の中で比較的に名の知れた人として、原谷正徳氏、生江義男氏その他の方々を頼って東京地区の同窓生のとりまとめを依頼してきたものである。

この要請に応じするため、互にかに同窓会東京支部を結成することとなり、原谷氏と生江氏の二人が中心となり、有力先輩に呼び掛けて本会結成への賛意を得て動き出したのである。まず、会則の制定から始まり、役員候補者の選定、同窓会役員名簿の作成、創立記念の準備等々、創立までの経過は大変な忙しさを覚えた。

幸い、桐朋学園には、生江義男氏を中心として誕生七人(佐藤孝己氏、山田隆一氏、千葉ひろし氏、高橋金雄、野村五郎氏、野村五夫氏)を擁していたことであって、当然のように「本会の事務員」として想定された。

しかし、桐朋学園の事務員担当の誕生七人は小生一人であったため、同窓生名簿の把握から会議の連絡、資料の作成、会費の運営にいたるまで、東京支部結成の事務的業務の責任が小生の肩にかかる結果となった。これが契機となって以来、約二十二年に亘って本会の事務員に關わる結果となったものである。

本会の創立総会を迎えるまでにはいろいろの困難もあったが、ともかく、一九五三年(昭和三十三年)に「東京鰐陵会」が誕生した。創立時に選任されたのが、会長に山田明氏(2回生)、副会長に山田明氏(2回生)と原谷正徳氏(3回生)、事務局長は生江義男氏(7回生)であった。この四人の方々が、生江事務局長が会長に就任する昭和六十二年まで延々二十八年間もその職に就いていたのである。

富沢副会長について思い出されるのは、あの端正な容姿と時々の鋭い語り口である。従っての会長候補は目に入ったもので、会費の進行もどかなく、さすがに慶応義塾大学工学部の元教授だとなんか感心したものである。富沢副会長の後継は、概ね同窓会の要職に在るべき先輩等について適々と進んでいって、たゞし、我々事務員にとっては、会長の高潔な理想は是とする、足元の財政運営に對する配慮・ご指示が曖昧だったこと、気がなつたものである。

創立当時の数年の間、東京鰐陵会事務局の要職的な運営・管理は、原谷正徳副会長と生江事務局長とで行なわれていた。そのころは、富沢副会長の自宅が「本会の事務局」として想定された。

創立当時の数年の間、東京鰐陵会事務局の要職的な運営・管理は、原谷正徳副会長と生江事務局長とで行なわれていた。そのころは、富沢副会長の自宅が「本会の事務局」として想定された。

創立当時の数年の間、東京鰐陵会事務局の要職的な運営・管理は、原谷正徳副会長と生江事務局長とで行なわれていた。そのころは、富沢副会長の自宅が「本会の事務局」として想定された。

創立当時の数年の間、東京鰐陵会事務局の要職的な運営・管理は、原谷正徳副会長と生江事務局長とで行なわれていた。そのころは、富沢副会長の自宅が「本会の事務局」として想定された。

われらの青春の牽引車

加藤 直人(24回生)

さて、原谷正徳さんを生江元長への連絡・報告文書には大いに気を使つたものである。同時に気が使つたものもある。同時に気が使つたものもある。同時に気が使つたものもある。

温厚な富沢副会長と対照的に活発な行動で事務局を動かしたのが、原谷正徳副会長である。しかし、原谷さんと小生とは本会の副会長と事務局長として付き合ひの比重が極めて大きい。

富沢副会長は、私学として存在が著しく認知されつつあった時代で、生江校長の桐朋学園西側の邸宅に在り、教職員が一度回遊して新たな教育を目指していた頃である。

原谷さんは、生江校長始め我々事務員出身の教職員の大先輩として、又、学校のPTAの幹部として、又、桐朋学園の新しい教育及び私学経営の指導役に任じておられた。中学・高校生との作文である「桐朋学園」の副題や「海外子女教育」の計画の推進等にその成果が見られる。

折り返して、記憶の片断を探つて纏めてみたいと思念している。

折り返して、記憶の片断を探つて纏めてみたいと思念している。

折り返して、記憶の片断を探つて纏めてみたいと思念している。

【汽車通学・一番列車】

【汽車通学・一番列車】

通学時代の一日は、朝一番(六時二〇分頃)の列車に間に合うかどうかで始まる。一日に五、六便しかなかった時代、乗り遅れば一時限目からの授業、小生田から下ってくる蒸気機関車のボコボコと響く吐息の音を耳にし、雨音警報の手前あたりから、下駄履きながらよく全力疾走した。まさか電車後に飛び乗ったりしては、駅員に怒鳴られた。

昭和二十一年入学以降しばらくの間は、客車(木造車)は三両形式は全部揃って不揃いで、客車が足りなく到着貨車(ワム型)もちらほら混在。駅の内部に緊急停止の音が鳴ると取り付けられ「客車代用」の別込みプレートあり、しかし運賃は同額。が連絡された混成列車だった。往時は貨物専用列車もなく客車の前方向に本来の貨車も繋かれ、列車によってその長さが異なり、長いときは機関車が構内を飛び出す程の位置で停車したりした。客車代用の乗り心地は何と驚かしたか?ここから、客車と違い車軸受けは板バネだけなので、振動が大きく、音もうるさく、発車・停車の際には、向も揺れるものがないので加速減速の慣性力も乗客は下オツと倒れ倒しになり、前後の座席にいたらアバラ骨が折れるか!? 追いつかないような状況で、昔が悲鳴・喚声あげた。現在では綺麗しようにもできないうちだろう。

【客車代用】

昭和二十一年入学以降しばらくの間は、客車(木造車)は三両形式は全部揃って不揃いで、客車が足りなく到着貨車(ワム型)もちらほら混在。駅の内部に緊急停止の音が鳴ると取り付けられ「客車代用」の別込みプレートあり、しかし運賃は同額。が連絡された混成列車だった。往時は貨物専用列車もなく客車の前方向に本来の貨車も繋かれ、列車によってその長さが異なり、長いときは機関車が構内を飛び出す程の位置で停車したりした。客車代用の乗り心地は何と驚かしたか?ここから、客車と違い車軸受けは板バネだけなので、振動が大きく、音もうるさく、発車・停車の際には、向も揺れるものがないので加速減速の慣性力も乗客は下オツと倒れ倒しになり、前後の座席にいたらアバラ骨が折れるか!? 追いつかないような状況で、昔が悲鳴・喚声あげた。現在では綺麗しようにもできないうちだろう。

【食糧事情・東回廊】

食糧不足で非農家は米は配給だったが土地柄(飯は何とかあった。しかし節約が優先で二食(じじき)で過ごした時期もある。弁当は、お昼や夕の具弁当、漬物、ジャガイモや野菜の煮物などが少し添えられた程度だった。ビニール袋など便利なものはなかったから、煮汁がカパンの中にこぼれんぞりわらない環境だったので手ごたな肉内のはかばか、豚肉などどど口にできなかった。その中で、

折り返して、記憶の片断を探つて纏めてみたいと思念している。



Photo / Kanji Nanto

C-11型蒸気機関車 [タンク式]

形は小さいが力持ち～そんなC-11型蒸気機関車が、中野区中野2丁目の『もみじやま文化の森』ZEROホール内に保存・展示されている(JR中野駅南口から徒歩6分)。

C-11型蒸気機関車は、前輪1・動輪3・後輪2のタンク式(従水車一体型)で、C-10型の改良型として、昭和7年から400台が製造され、懐かしい石巻線には、昭和23、4年頃からC-12型(C-11型より小ぶり)の後継車として登場した。先頭側面にC-12型にはない“煙立ち上げ用の扉”を有し、正面の顔は他の大型機関車に劣らないものと思われる。

当初は都市近郊の比較的短い路線に使われていたが、小回りで性能がよいことから、構内での貨物入替作業(列車編成)用などにも用途が拡大され重用された。

C-11 368号機(写真)は昭和21年製造、ディーゼル列車に替わる昭和47年7月まで活躍した。なお、仲間には365/367/369号機が活躍していたと記憶している。蒸気機関車に人気がある昨今、路線はごく限られているが未だ現存活躍中のことはご承知のとおりである。

中野近くにお越しの際は、ぜひ一度ZEROホールへお立ち寄りいただきご面会したいと思う。



石巻線・現・高山市(佐藤)

魚介は貴重な蛋白質だった。復員者、終戦で職を失った多くの人たちが、懐れない行商人になり、列車で石巻や真波から魚を運んだ。街中のみならず奥地の農家までお得意を運ぶ。手荷物は限られていた。旬の鮭、その量は限られていた。旬の鮭、秋刀魚、いかなど、ときには鮭、ホッケ、はらす(鰯)もあった。塩漬などはとも手に入らなかつたが「はらす」は塩漬だけで非常に辛く口持ちもよく少しの量でご飯一杯が食べられ重宝された。我々学生達は行商人を何となく距離を置いた目で見ていたが、物資豊富な今、貴重な蛋白質の供給源として往時の我々の生活の一部を支えていてくれたであろうことを思うと、車内の魚の匂いもまさに「生活の薫り」であり、生活のための懸命であった行商人も「運した生活力」のシンボルでもあったと考えられ、海にゆかりのある汽車「石巻線」の特色でもあったと懐かしく思い出される。

【編入・高掛けカバン】
通学には、紺帽と学生服が義務づけられていたが、物資不足で制服販売店などもなく、あつても買えなかつたので、帽子とカバンを自作し、自分で作った。戦時中は形が作りやうと思ひ、おふくろの布の芯を素材にした。白綿二本をつける決まりだが、本体の生地が白かつたので奇妙なものになった。色を染める手だてがなかつたから、他の何人かもお下がりのプカフカフの鞆だった。カバンは肩掛けでベルトは短く詰めておいた。上級生は空カラ志向が強く尻より低くまで長くしていたが、新入生が真似しようものなら生意気だと睨まれ「鞆」を入られた。対であった。なお、頭は皆丸坊主であったが、高校になった頃から運動部員のほかは髪型が増えた。カバンは肩掛けベルトも長くなり、手さげも見られるようになり、高学年になるとノートや教科書を多く持つて歩か

いのがカッコよかつたのか「ブツカバンド」というものが流行した。
【群れ・女学生】
列車では、気の合う同士で軟派、深派、ノンポリなどの「群れ」ができた。登校時の乗車の位置もそれぞれは決まっていた。メッシュ、アイビー、リーベ、デイト、などドイツ語の片言の聞きかじりの興味から女学生へのあこがれの風も芽生えた。浦谷には女子(普通科)高がある。下り列車には慶文(家政)高、石巻市立校の女学生が乗って通っていた。現代のように携帯電話もなく、直接に話をするでもなく、先方の女生徒の群れと目をあわせてたりせたり、群れでひそひそ話をしながら向をおどらせたものだった。
【試験期間】
期末試験の時期は勉強部屋にもなった。日頃のサボリから、むかぬ勉強でも進めつつも、眠い目をこらして車内で単語カードやノートをあさり、その日の試験期

間にズバリ出たときはやはり大変であったと喜んだ。めつたになつたことだが、一方サボリ屋と違い、独り何時も本に目を通している勉強家もおり、毎日の時間の積み重ねの努力で汽車通には比較的前進がいたといわれる。
【部活動】
高校の授業は六時限の目が多く、終業は午後三時頃になった。部活動は結構盛んだったが、汽車通には汽車の時間の制約がある。サボれば三時半頃の上り列車で帰られたが、部活をするに五時十五分の列車がメドでいづもぎりぎりになり、またも時山からの走りとなる。駅前の坂道から列車が入構して来るのが見えぬなら十分間に合つたが、駅舎の上へと蒸気が昇つていくときは無敵夢中であつた。乗り遅れると八時台の終列車になった。発表会前などの補習のときは、出立前の友人宅や先生宅に泊まり込んだこともあつた。

【沿線風景】
殺気地帯だけに、六、七月頃は一面に緑の田園が遠く続く列車からの景色は素晴らしい。心が癒された。冬は雪が現れまばゆい程だったが、最近の暖冬ではどうなのか。町並みも駅から数百メートル程で、あとは田圃、田圃……だったが、家も大分運んで建て、特に鹿又あたりは、幹線道路もでき様変わりが著しい。鉄道も前谷地から気仙沼まで通じ、上涌谷、曾波山の若果の頃から線へ、そして紅葉など四季の趣だけであつた。
【旧車の運行】
ともあれ五十余年前の数年間汽車通学生の一日の生活時間帯は列車の時刻で支配されていた。幸か不幸か我々青春時代はハングリーな精神で夜後の発車の種となったことには違いない。石巻線から蒸気機関車が消えてから久しい。ゴトゴトと時速四十キロ程の速さでのんびりと走る石巻線の列車を牽引していたC-12やC-11型蒸気機関車は、まさに「われらの青春の牽引車」であった。
(二十四回生・上り学区・浦谷出身・石巻線・現・高山市(佐藤))

新宿で石巻の懐かしい味を!!

新設会員の宴会(5名さま以上)には原酒サービス。

浦霞
最元高宮

●石巻・女川・塩釜直送のふる里料理

- (一例) 生かき
- ほや
- 笹かま
- さつま揚げ
- 松葉鮎

樽 新宿店

社長 佐藤 慎太郎 ☎3208-9772

高田馬場本店 ☎3208-9771 池袋店 ☎3971-5730

FOOD PACKAGE & MATERIALS SUPPLIER



包装資材 販促用品

株式会社 ジンパック

代表取締役 増子 文人 (30回生)

本社 〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-20-18
 TEL 03(3904)2166
 FAX 03(3904)2154
 池袋店 〒203-0043 東京都米町市場内
 TEL 0424(75)2038
 (財)日本食肉流通センター内

JEANPACK CO., LTD

農業に生きる



山崎 惠章
(46歳 生・美本町在住)

「うちは比較的、被害が少なかったほうだった」

平成十五年七月二十六日に襲った宮城県遠征地帯である。矢本町赤井にある家に、取材にお邪魔したのは八月末の午前十時ごろ。本人は農作業中で、畑からトラクターで戻ってきた顔には汗が光っていた。

「だいぶ被害にあった農家もある。それに今年の夏は長雨に低気圧と天候にも恵まれず、農家にとってはまさにダブルパンチ」

家の農業を継いでもう二十年以上になるが、今年の夏ほど農家にとって不運続きの夏もないそうだった。

それにしても卒業後の就職難、親の進むコースとして農業は少ないはず。が、今は一人の父として夫として、生活はすっかり大地に根差している。

「華はあった。石巻高在学時代は美術部に所属、「絵描きになること」にあこがれた」という。「高校のころは農家を継ぐのが嫌だった。夢だった美大に行きたかった」

何とか父の理解を得て、二年間浪人した後、武蔵野美大に進学する。が、卒業を間近にして中退。古里に戻って、結局進んだ道は農業だった。「二ヘクターある畑で美本特産の長ネギを育ててきた。農

家として売っているのは、この長ネギとコメ。あとは自家用に野菜を植えているだけ」

自分のほかに両親と妻の四人が働き手。王数は必死。でも、矢本に限らず、この町でも農業の後継者不足の問題は深刻。高齢化が進んでいるのに対し、就業者は毎年二、三人にすぎない。

自分も子どもは三人いて、うち男の子が二人だが、高校生の長男はコンピュータ関係の仕事に就きたいと、夢みたくないことを語っている。ま、自分自身、高校時代そうだったが」

親自身も八十人を教える矢本町長生生産組合長も務める。一農家としてだけでなく、リーダーとしても矢本町の農業の行方を考えていかなければならぬ立場にある。

その大事な収入源である長ネギも例外なく今年は見通しが暗い。「天候不順と地帯の影響で土が硬んでいる。収穫に響きそう」

農業を取り巻く状況は決して明るくないが、本人は意外とのんびりとしている。そう見えても、農家が求めているのは、収穫の喜び、というより、収入の喜び、しかもまともな喜び」と元欲を飛ばした上で「農民は生活力があるにちがいない。最低限、自分たちだけでも食べていける野菜やコメを作ることができるのだから」

ほとんどの人は自分の仕事だけで手いっぱいという中、積極的に地域づくりにかかわりを求めている。その一つが年一回、

「R山石線赤井駅前が開かれていた「ふれあい朝市」への生産者としての参加。消費者とのつながりを大事にしようという願いが込められた。ただ、今は見直しをしようという声も聞かれています。当日の出入が少なくなってきたので、趣向を変えていかなければならない」と何事も前向きだ。

子ども会の会長も務める。昨年までは地域ミニコミ紙の編集長でもあった。

「自分の住む地区には約百十戸がある。その隣町土のミニコミ二ヶーションの運営員として始めた。地区の人を登壇させたり何かの活動を紹介したりすること、住民の連帯感、結束力が高まればいい」

美術とも別なかわり方をしている。分館で大人を対象にした絵画教室を指導しているのだ。「えっ、なんで子どもに教えないかって。子どもは大人と違って興味で一人ひとりが才能を秘めているから。それを見つけ伸ばす力量が自分にあるかと思うと疑問で、だから子どもにも教えるのは怖い」

昇間は土と共に生き、夜は地蔵活動に助けてきた日々といってもいい。「夜はほとんど家にいない。一週間に一日か二日くらいいいほう。それで困ったことがあったという。先の地震直後のことだそうだが、「毎夜のようだった打ち合わせや会合が突然なくなった。地震被害でみなそれぞれではなくなりました。俺は何をして夜を過ごすにはいいのだろうと思った。このごろようやく落ち着いてきて、元の生活リズムに戻りつつあるけれど」

思えば人生の半分を農業と共に生きてきた。

「日本の農業は今でも昔ながらの個人経営、家族経営。そこからへんを改革していかないと農業の将来のためにも例えは企業的な仕組み、投資を導入することも考えていかなければならない」

約三十年前の閉鎖地帯は今や

岡田座の前身は千葉座。幕末の開港だという

岡田座子、屋上第五郎、三波春夫、由利徳、藤田浩二、美空ひばり……、続々登壇するを前に、岡田座を創設した岡田座の興行師・菅原一誠、佐藤子とのエピソードが語られていく。その有様は映画のワンカットのようである。

「岡田座(一五〇年)は、平成十一年に結成された「岡田劇場(パルレ)」(会長岡田座子、副会長菅原一誠)の前身。内容は四項目に分かれ、「第一幕 千葉座七から菅原二代へ」と題して岡田劇場の変遷を、「第二幕 思い出」では、近隣の人々から

日焼けした、たくましい農民の顔に成長した。

「【補注】一九五五(昭和三十)年五月十一日、矢本町生まれ。【原付】「白紙かほく」

久野義文 (46歳 生)



銀座のお気軽居酒屋 **北海道だより**

銀座の真庭でひっそり、ゆったりと味わえる。サーモンカルパッチョ、男爵いもバター、ジンギスカン鉄皿は当店人気のお料理です！

焼酎一じゃがいも、しそ、昆布
ワインおたる、十勝、余市とこだわりのラインナップ
神秘的な海底洞窟風の店内にてお過ごしください。

隣接会のお客様には、お料理をサービスさせていただきます。

東京都中央区銀座6-13-4
銀座52ビルB1
TEL03-3546-0555
<東京メトロ>
東銀座駅A1出口より徒歩2分
銀座駅A3, A5出口より徒歩4分

北海道だより
月～金 17:30～23:30 (L.O. 22:40)

「おもてなしの民宿」
かい しゅん
海旬

カキ・ホタテ・アワビなど
自慢の磯料理でおもてなし。
釣り船の予約もできます。

客室6室(洋室あり)
1泊2食付 6500円～7500円

〒986-2203
宮城県牡鹿郡女川町竹浦58
TEL(0225)53-2553

戊辰の戦いと石巻

阿部 和夫 (29回生)



今年、NHKは大河ドラマ「新選組」を放映中である。その影響のゆえか新選組や戊辰の戦いへの関心が高まっている。しかし、石巻が戊辰の戦いに開き

指し折浜(石巻市)を出帆するまでの四十六日間、仙台藩がその活動の舞台となった。その根

とは、恭順をしている仙台藩としては、何としても避けねばならぬ事態であった。そこで、藩

たことが明らかである。彼等は矢本まで進軍していた新政府軍

これで石巻における戊辰の混乱が終わったわけではなかった

本が石巻浦在中の池會となったのが、毛利慶利兵衛(石巻住吉)の所である。根本は、石巻入港

新選組は有名藩士等も含め再編成されていたが、滞在先の里

一方、寒風陣にいた旧幕府艦船も、社団半島の折浜に集結

石巻を救った毛利慶利兵衛の子孫に一言ふりたい。昭和二十三年、石巻高校の野球部は

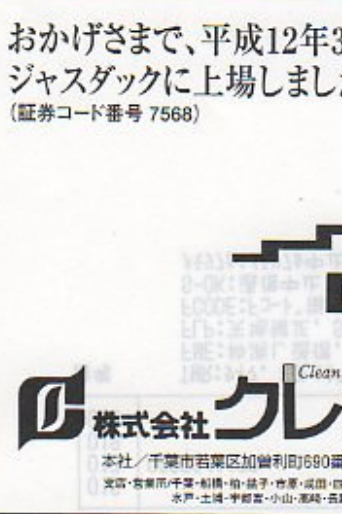
今年、品川沖に停泊していた根本武備隊の旧幕府艦隊八隻が、八月十九日、蝦夷地を目指し

各地で敗戦の旧幕府軍は、列藩同盟の盟主であり、根本武備隊

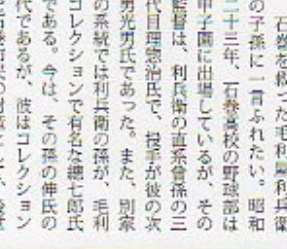
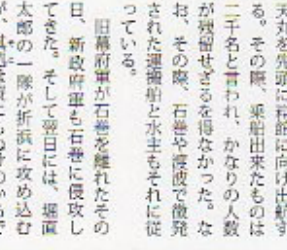
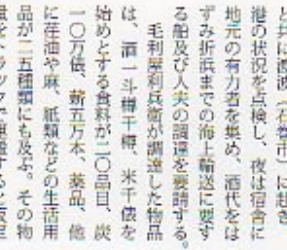
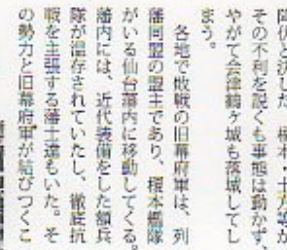
旧幕府軍が石巻を離れたその日、新政府軍も石巻に侵攻して

石巻を救った毛利慶利兵衛の子孫に一言ふりたい。昭和二十三年、石巻高校の野球部は

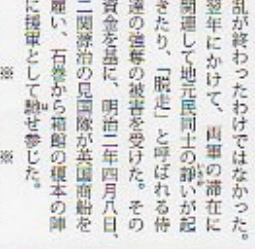
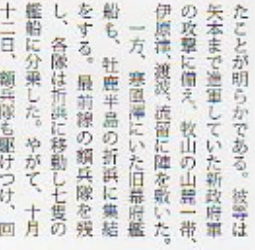
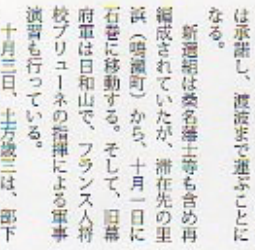
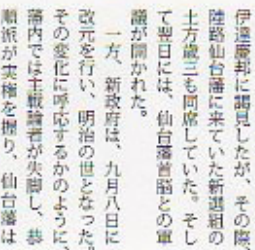
石巻市折浜の阿部家文書に記され、当時、旧幕府軍が石巻・



折浜に建てられた「根本武備艦隊乗組の地」の標識



刀傷のある部屋(根本武備が滞在した部屋)



刀傷(土方歳三がつけたと言われている)

おかげさまで、平成12年3月15日
ジャスダックに上場しました。
(証券コード番号 7568)

WE'LL BE THERE

近年中に東証二部上場を
目標としています。

代表取締役会長 平山貞夫 (27回生)

●人材募集 ●全力投球する新学生・知人をご紹介ください。

トールガス株式会社 伊勢明夫 (28回生)
文庫・音楽部 伊勢明夫 (28回生)
文庫・音楽部 伊勢明夫 (28回生)

宮城ガス株式会社 菅原俊夫 (28回生)
札幌ガス株式会社 後クレックス三和

Clean Energy X
株式会社 クレックス

本社 / 千葉市若葉区加曾利680番地 電話043(234)211180
文庫・音楽部 / 千葉・船橋・柏・流山・市川・葛西・成田・成田東部
水戸・土浦・宇都宮・小山・高崎・長野